



# 指導法 / 教材・教具の工夫

～可能性を追求するために～

Ver.4



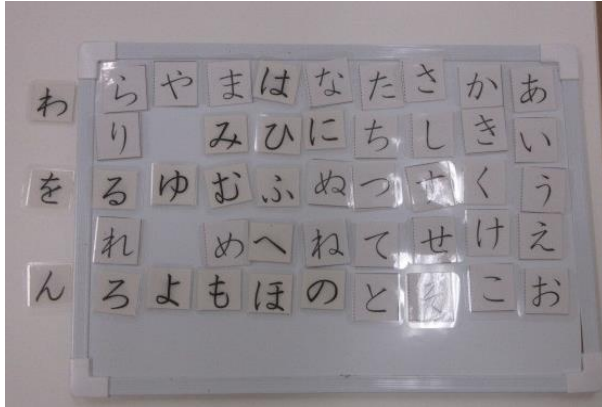
令和2年度全国公開研究会  
東京都立光明学園

# R 2 年度 教材教具・指導事例集 目次

## 2 文字・言語、文章の教材

2-1	ひらがなカードでことばをつくろう！	病院訪問	小学部
2-2	アクロスティックで詩を書こう	そよかぜ分教室	小学部
2-3	登場人物の心情曲線を作ろう	そよかぜ分教室	小学部
2-4	アフレコに挑戦しよう	そよかぜ分教室	小学部
2-5	かん字のおやくそくカード	そよかぜ分教室	小学部
2-6	織田信長を知る	そよかぜ分教室	中学部
2-7	英語で体の部位の名前を覚えよう	そよかぜ分教室	中学部
2-8	受動態	B 部門	中学部
2-9	謎解き！『奥の細道』	B 部門	中学部
2-10	創作漢字で漢字に親しもう	B 部門	高等部
2-11	オンラインで動作クイズに挑戦！	S 部門	小学部
2-12	『ぐりとぐらのかいすいよく』	S 部門	小学部
2-13	みんなで「いただきます！」	S 部門	小学部
2-14	私の枕草子	S 部門在宅訪問	中学部
2-15	D y n a m a i t e	S 部門在宅訪問	中学部
2-16	穴通し	S 部門	高等部

# ひらがなカードでことばをつくろう！ ～50音表を生かしながら～



## 対象となる児童・生徒

B 部門 小学部

(病院訪問)

知的障害を併せ有する 教育課程

ひらがなへの興味がふくらみ、パズルのような感覚で50音表の並びが頭に入っているところがある。「あいうえお、かきくけこ…」と誦んじることができる。

## ねらい

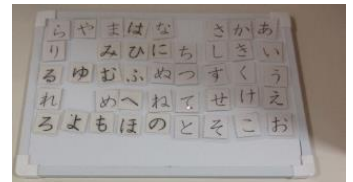
一枚の画像のような感覚で50音表の並びを把握している部分があるので、それを活用して1文字ずつのひらがなを探していく学習ができないかと考えた。

## ポイント

- ・汎用性、展開性なども考慮してこのような配列にした文字カードを使ってひらがなを学習することとした。
- ・積み重ねの成果で、文字を探すのが早くなり、少ない支援で探せるようになった。

## 教材の使い方、指導の実践例など

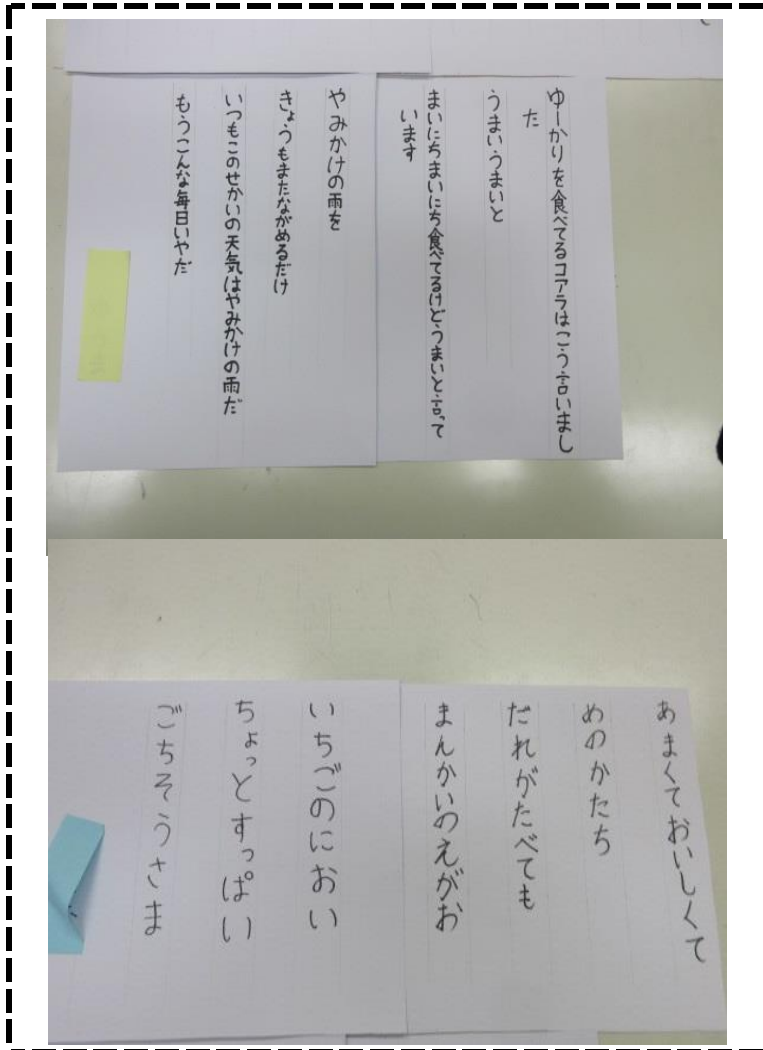
- ①絵カードを見て、その名前を口で言う。
- ②50音表から、枠に当てはまる文字を1文字ずつ選ぶ。
- ③教員は、状況に応じて適宜ヒントを出しながら支援する。
- ④貼った文字を1文字ずつ指さしながら、声に出して読む。



※ねらいや学習課題にあわせて、右下写真のように、ひらがなで作った言葉から当てはまる絵カードを探すような活動も展開できる。



# アクロスティックで詩を書こう ～表現方法の発見～



## 教材の使い方、指導の実践例など

- ・「アクロスティック」とは、文章や詩の各行の先頭の文字を並べると、語句や文になる言葉遊びである。
- ・音読を3回行わせ、「最初の一文字をつなげていくと、名前や言葉になる」という規則性に気づかせる。
- ・一文字目を自分の名前にして詩を作ることが、難しい児童には、自分の好きな短い単語で考えさせる。
- ・初めは「難しい」と、発言していた児童がほとんどだったが、言葉をたくさん出して考えていくうちに、全員、短い詩を書くことができた。書くことが得意な児童は、長い詩を書くことができた。児童の実態に応じて、詩の創作を行うことができる課題である。

## 対象となる児童・生徒

B 部門 小学部

そよかぜ分教室

準ずる 教育課程

準ずる教育課程の小学部5年生の児童である。想像して詩を書くのが、難しい児童もいれば、すぐに書き始める児童など様々である。

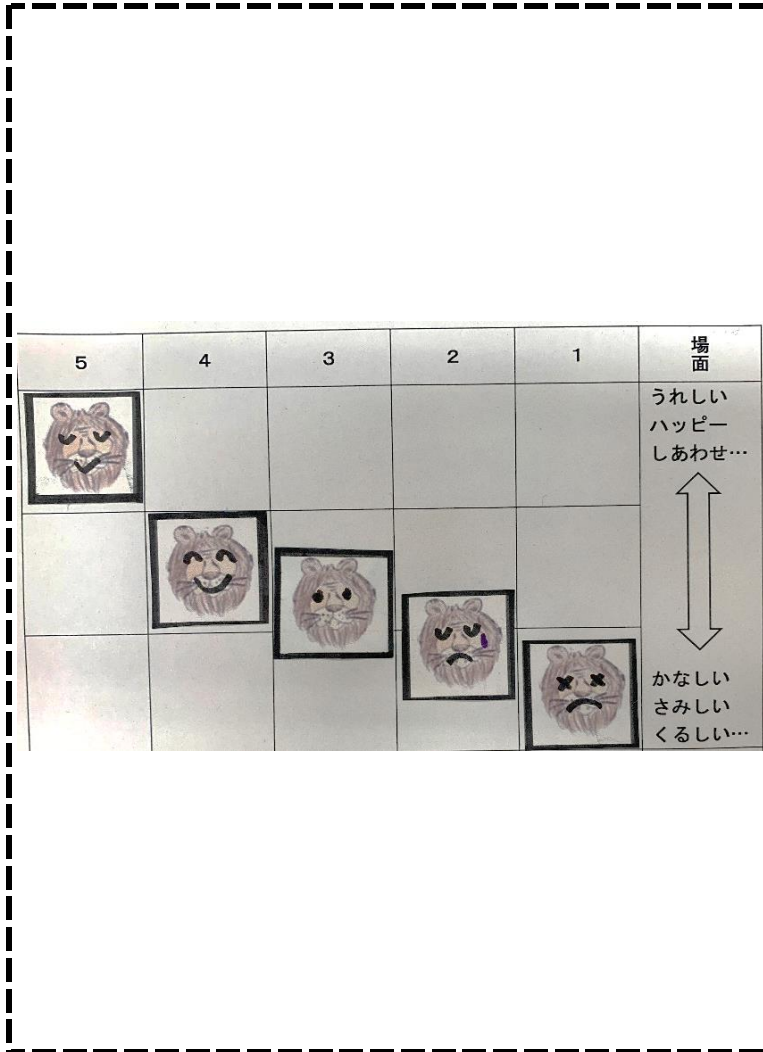
## ねらい

複数の詩を「比べ読み」する中から表現方法を発見させ、創作方法へと結びつける

## ポイント

- ・詩の創作指導を手助けする課題である。
- ・基本は自分の名前を文頭に持ってくるが、文末や斜めなど、アレンジができる。

**登場人物の心情曲線を作ろう。**  
 ~ 叙述を基に登場人物の気持ちの変化を読みとる ~



対象となる児童・生徒

B 部門 小学部

そよかぜ分教室  
準ずる 教育課程

自分の考えや思いを文章に起こすことが苦  
手な児童。

ねらい

叙述を基に、物語の中心人物の心情が場  
面ごとに変化していくことを読み取る。

ポイント

- ・目や口の形を書きこむと、中心人物の表  
情が表せるようになっている。
- ・文章に起こすことが苦手な児童でも、イラ  
ストで心情の変化を視覚的に読み取るこ  
とができる。

教材の使い方、指導の実践例など

- ・国語や道徳など文章を読んで、登場人物の気持ちを想像したり、気持ち  
の変化を考えたりする学習で使用する。
- ・心情曲線にすることで、場面ごとに登場人物の気持ちが変わる様子を視  
覚的に理解することができる。
- ・文章に起こすことが苦手な児童であるが、楽しみながらイラストで表すこ  
とで、「心情の変化を読み取る」という学習のめあてを達成することができた。



# アフレコに挑戦しよう

～絵本をアニメーションにして楽しもう～

ICT機器を活用した授業



対象となる児童・生徒

両部門 小学部

そよかぜ分教室  
準ずる 教育課程

物語のストーリーを理解し、工夫しながら音読ができる児童

ねらい

作品のよさを理解し、登場人物の気持ちを考え、くふうしながら読む。

ポイント

iPadで、絵本の画像にアニメーション効果をつけた動画に、児童がアフレコを行う。また、その動画に、BGMや効果音をつけることで、児童の学習意欲を高めることができる。

教材の使い方、指導の実践例など

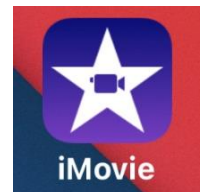
＜対象教科＞ 国語・総合的な学習の時間

＜絵本をアニメーションにする方法＞

- ① iPadカメラで絵本を画像にする。
- ② iMovieで画像にケン・バーズ効果をつけてアニメーションのような動きをつけた動画をつくる。
- ③ iMovieで必要に応じて音楽や効果音をつける。Movieでアフレコを行う。
- ⑤ 完成したアニメーションを鑑賞する。

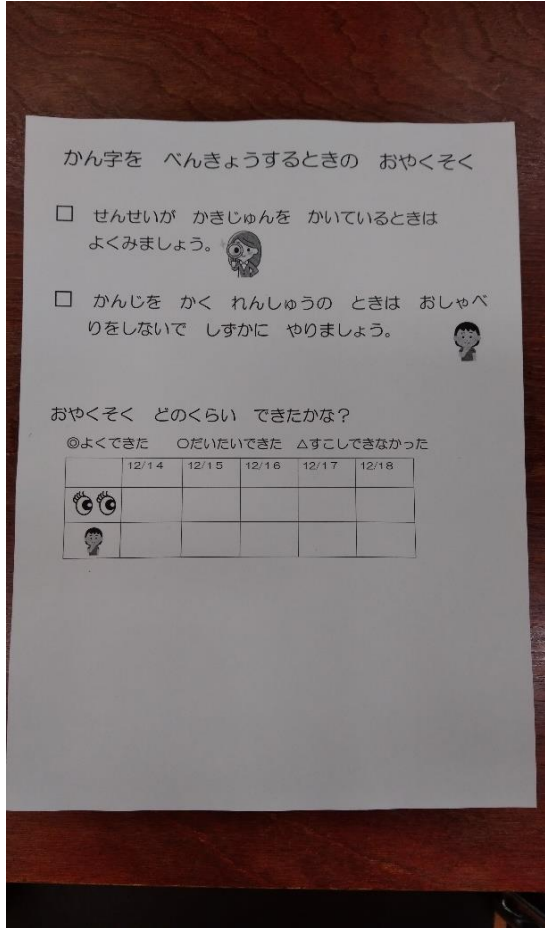
＜期待される教材の効果＞

○ 作品を鑑賞することで、間の取り方・抑揚・強弱のつけ方などの読み方を児童が客観的につかむことができる。



# かん字のおやくそくカード

～授業に集中できないときは、見える化しよう～



## 対象となる児童・生徒

B 部門 小学部

そよかぜ分教室

準ずる 教育課程

小学部1年生の児童 オンライン授業での漢字指導の際、画面を見ないで書いてしまったり、おしゃべりがやめられないことが多かった。

## ねらい

漢字の学習をする前に、この紙でおやくそくの確認をして、今何をする時間なのかを意識させる。

## ポイント

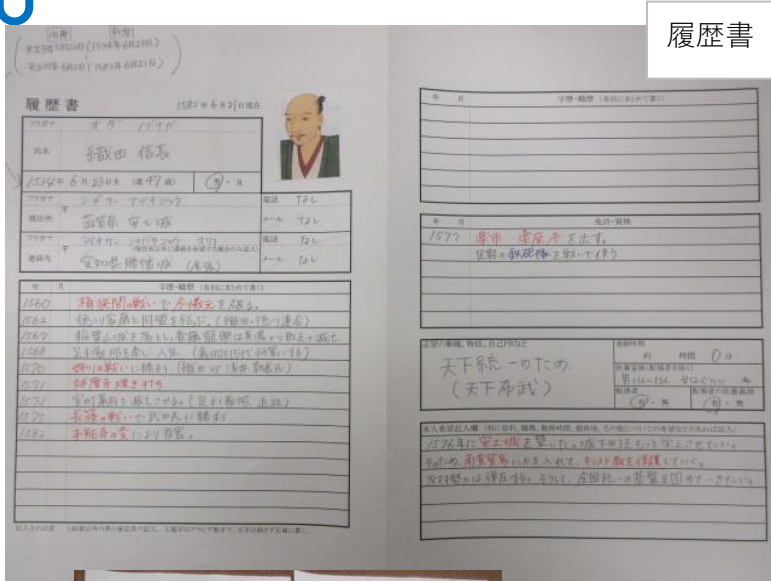
・口頭で伝えてもなかなかできない児童に対して見える化で確認をして学習をスムーズに進められる。

## 教材の使い方、指導の実践例など

- ・オンライン授業で、教員の口頭の指示が通りにくい児童に対して使う。
- ・1つやくそくを確認してから活動にはいる。それが終わったら、すぐに自分でできたか振り返りを行う。
- ・繰り返し行うことで、児童自身少しずつ意識できるようになってきている。

# 織田信長を知る

～信長が履歴書を書いたなら～



履歴書

対象となる児童・生徒

B 部門 中 学部

そよかぜ分教室

準ずる 教育課程

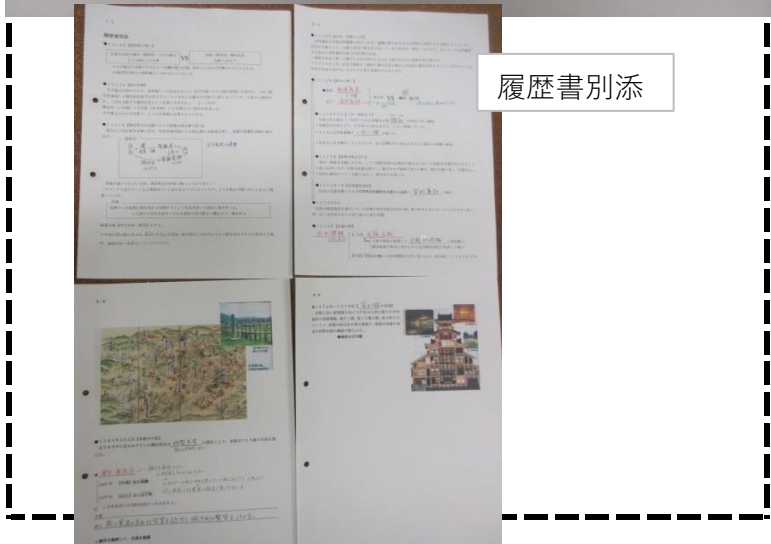
暗記が苦手で、歴史にも苦手意識がある生徒。

ねらい

本物の履歴書を使うことで生徒の興味関心を引き、実際の履歴書の書き方を学ぶ。そこに織田信長が自分の履歴を書いたならどうだろうと関心意欲を高め、歴史の流れが頭に入るようにする。

ポイント

普段の中学校生活の中で履歴書を実際に書く機会がほとんどないので、アルバイトなどでもこういった履歴書を書いたという、とても興味を持って取り組んでいた。



履歴書別添

## 教材の使い方、指導の実践例など

### 【教材の使い方】

- ・履歴書を印刷し、氏名や住所を埋めていく。住所の欄には信長が生まれた城の名前や亡くなる直前まで使っていた有名な城の名前を書いていく。
- ・学歴・職歴には1560年に桶狭間の戦いで今川義元を破るところから書き始める。
- ・主要な歴史の流れを書いていく。
- ・免許や資格の欄には、楽市楽座を行ったこと、足輕鉄砲隊を使ったことを書く。
- ・志望の動機などは、天下統一のためと書き、天下布武という字を掲げていたことを説明する。
- ・本人希望記入欄については安土城を築いたこと、城下町を栄えさせたいこと、そのため南蛮貿易を行い、キリスト教を保護したことを書いていく。
- ※この履歴書だけでは説明不足だと思った場合、履歴書別添という形で説明書をつけ、説明書を見ながら書いていった所をもう一度復習することができるようになっている。
- ※履歴書別添は学歴・職歴に書いた歴史の流れに沿って書いていく。1560年～1562年～1567年～など1582年の本能寺の変まで書き、安土城などについても記載しておく。



## 英語で体の部位の名前を覚えよう

～聞いて、見て、触って～



### 対象となる児童・生徒

B 部門 小学部

そよかぜ分教室

準ずる 教育課程

小人数の集団で授業をすることが多い。大きな動きはできないが、顔や手足を触ることはできる。

### ねらい

体の部位を英語で覚えるために、絵カードを使うことで、視覚的な支援ができる。

### ポイント

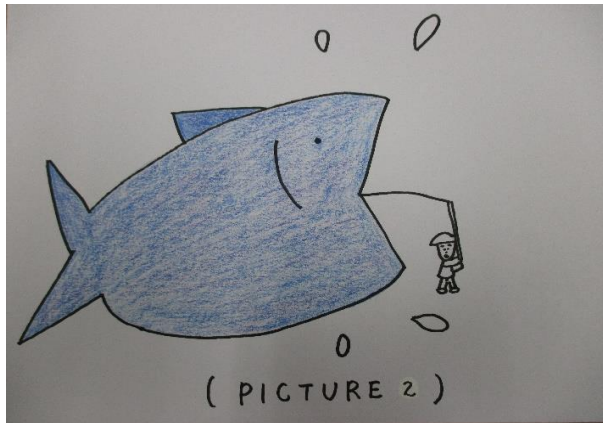
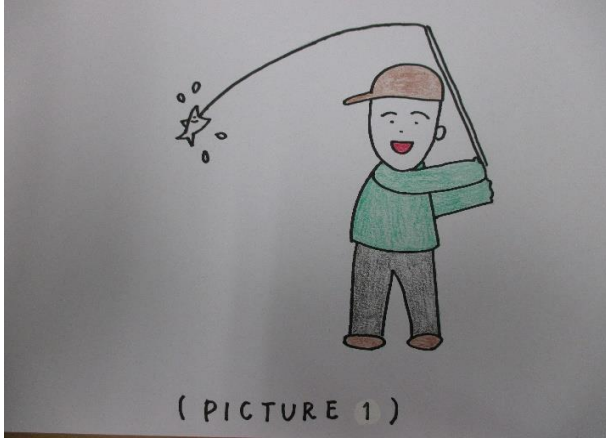
- ・スペルと発音の確認もできるとよい。
- ・かるたのように使うこともできる。

### 教材の使い方、指導の実践例など

1. 絵カード3枚を選ぶ。1枚ずつ提示し、部位とスペルと発音を確認。
2. その部位を自分で触るように伝え、そのまま発音練習を2回繰り返す。
3. 3枚分同じことを繰り返す。
4. 部位の名前だけ英語で教員が言う。生徒はその部分を触る。カードを見せて、合っているか確認する。
5. 3枚分終了したら、更にカードの数を増やす。増やすカードの枚数は時間と学年によって調整する。

## 受動態

～話題の中心が人(Kenta)から魚(Max)に移ったことに気付こう～



対象となる児童・生徒

B 部門 中 学部

準ずる 教育課程

生徒男子2名。意欲的に学習に取り組み授業態度は良好である。1名は書字障害があり、英単語のつづりは苦手であるが、英文を理解する力は高い。

ねらい

絵を見ながら英文を聴き、話題の中心がKenからMaxに移っていることに気付けるかがポイントです。英語で受け身を表現するときの文の構造に着目しましょう。

ポイント

能動態では人(Ken)を、受動態では魚(Max)を大きく描いたり、色付けしたりして目立たせました。ターゲットセンテンスであるMax was caught by Kenを強調して読みます。

### 教材の使い方、指導の実践例など

受動態を学ぶ際に使用します。絵カードを手がかりに英文を聴くことによって理解の一助となります。

「主語が何かをする」「主語が何かをされる」の違いに気づき、英語で受け身を表現するときの文の構造に着目できるとよいです。

(picture 1)

This is Ken. He likes fishing in a river. One day Ken caught a big fish. He was happy.

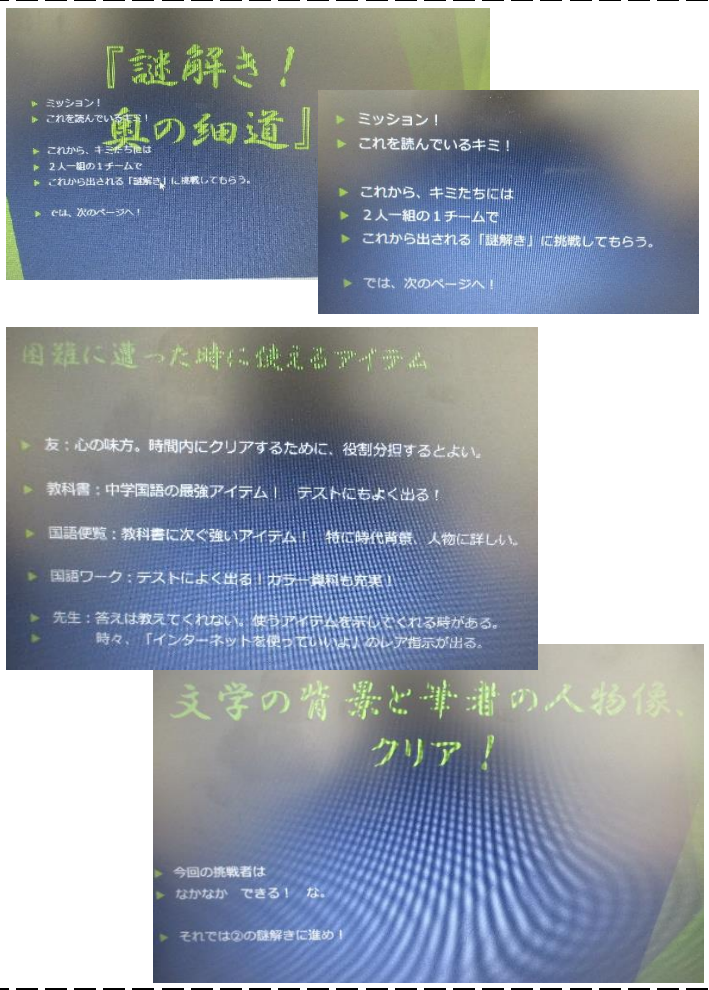
(picture 2)

This is Max. He likes swimming in a river. One day Max was caught by Ken. He was sad.

**Max was caught by Ken.**

# 謎解き！『奥の細道』

～「Teams」を活用した、複数の生徒と教師による同時進行の資料作り～



## 対象となる児童・生徒

B 部門 中 学部

( 3学年 )

準ずる 教育課程

中学国語では古文の他に、俳句、和歌、漢文を学ぶ。生徒は自ら俳句を作るなどの中で、日本特有の言葉のリズムや古来から続く文学の歴史に親しんでいる。

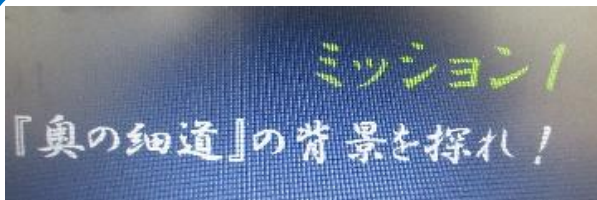
## ねらい

複数の人で一つの資料を同時に作成できる Teamsの利点と、ICT操作が得意な生徒の特技を生かしながら、楽しんで古文に親しむことをねらいとする。

## ポイント

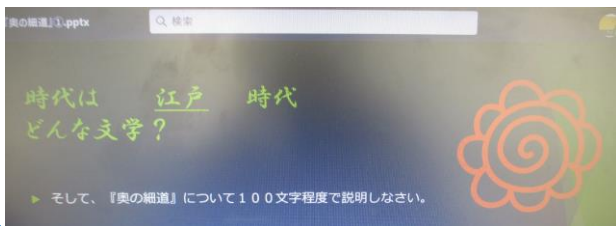
パワーポイントのアニメーション加工で、ゲームのような動きを加えた。生徒が自主的に、文字入力で問題を解くことができた。生徒2人で助言し合いながら、違う観点から回答を探すことができた。

## 教材の使い方、指導の実践例など



①教師は、毎回『奥の細道』についての課題を出題する。→生徒が同時に入力したり、アニメーションを動かしたり、ができるようにパワーポイントを作成しておく。

②生徒は、各自のアカウントでチームスに入り、課題の答えを自分の決めた方法で調べる。



③指定された資料を、生徒は調べて得た回答をシートに記入する。同時もしくはそれぞれのペースで行え、生徒の入力の様子を、教師がリアルタイムで同じ画面上で見えて指導・評価することができる。

④解答が正解なら「花丸」をつけ、正答の確認となる。大きな「花丸」は、生徒のモチベーションUPとなる。

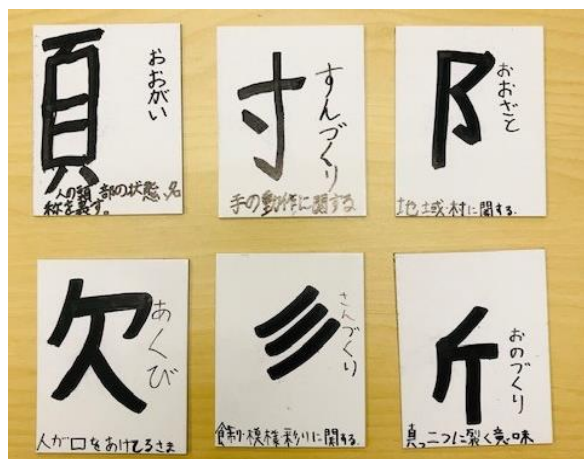


### 創作漢字で漢字に親しもう ～漢字をゲームで楽しく学ぶ～

部首カード



旁カード



### 対象となる児童・生徒

B 部門 高等部

( 学習グループ )

準ずる 教育課程

- ・漢字練習中心の学習に抵抗感がある生徒。
- ・友達や教員とゲームを通じた活動を楽しめる生徒。

### ねらい

- ・「部首」と「旁」それぞれのもつ意味をよく考えることで、漢字の理解を深めたり、言語感覚を伸ばしたりする。

### ポイント

- ・生徒が作成したカードを使用することで生徒同士の会話や関わりを広げる。
- ・馴染みのない部首や旁は意味を調べてカードに書くことで漢字の意味を深く理解する。

### 教材の使い方、指導の実践例など

- ①部首カードを机に伏せて置き、山札にする。旁カードを生徒に5枚ずつ配る。
- ②山札から生徒の人数と同じ枚数の部首カードを、机に表向きにする。
- ③部首カードと自分が持っている旁カード1枚を組み合わせ、どんな創作漢字ができるか考える。思いついた生徒は必要な部首カードを取って自分の札にする。
- ④全員が部首カードを取り終わったら、考えた部首と旁の組み合わせとその意味を大喜利形式で発表し、その出来栄を友達や教員と評価し合う。
- ⑤一番良かったと思う人に自分の旁カードを渡す。これが得点カードとなる。②～⑤を繰り返す。最後に得点カードを多く獲得した人の勝ち。

参考教材：漢コレ！

# オンラインで動作クイズに挑戦！

～参加型のオンライン授業及び動画教材作り～

このかあどをよういしてね



本時で使う  
カードの説明

各問題で使う  
カードとルール  
の確認



問題  
出題中



動作のヒントを  
出しながらの  
Thinking Time



## 対象となる児童・生徒

S 部門 小 学部

( D 学習グループ)

知的障害を併せ有する 教育課程

普段からコミュニケーションに絵カードを活用しており、授業の絵カード等、生活に身近なカードについては、概ね理解している児童を対象とした学習。

## ねらい

- ・登校再開後に行った「14ひきのあさごはん」を題材にした動作の学習の導入としての位置づけの活動。
- ・身近な動作について、絵カードで選択することができる。
- ・知っている言葉、使える言葉を増やす。

## ポイント

- ・使用する絵カードを事前に教材便で郵送して、グループの児童全員の手元に教材がある状態で授業を進めた。
- ・絵カードを3種類ずつ色分けすることで、各問題でどの絵カードを使うのか、分かりやすくした。

## 教材の使い方、指導の実践例など

- ①MT:本時で使うカードの色を伝える。
- ②MT:問題1で使うカードの色とルールを説明する。  
「最初に使うのは、紫のカードだよ！これから、〇〇先生がする動きをよーく見てね！」
- ③ST:動作をしてみせる。
- ④MT:「どのカードの動きかな？考えてみよう！」～Thinking Time～
- ⑤MT:正解発表。

※オンライン授業では、合図に合わせて全員でカードを出し、答えを確認する。

従来の動画教材は、一方向になりがちでしたが、リアルタイムでつながるオンライン教育の特性を生かした内容を取り入れることで、児童が主体的に活動に取り組むことができた。



『ぐりとぐらのかいすいよく』  
～各教科をリンクさせて、物語の世界へ！！～



音楽：「うみ」  
なみにゆられて  
ゆ～ら ゆら



対象となる児童・生徒

S 部門 小学部

(B学習グループ)

自立活動を主とする 教育課程

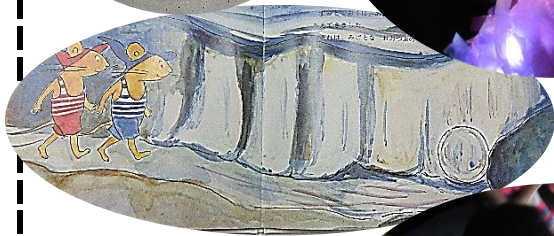
2年生8名です。1年生の時から、各教科をリンクさせ、物語の世界に深く入って学習を積み重ねています。このお話は4月休校中の宿題から始めました。



ねらい

お話遊びを通して、以下を学ぶ。

- ①『海』の曲で揺れ遊びを楽しむ。(音楽)②水と積極的に関わる。(遊びの指導)
- ③隠れた真珠を見つける。(国語算数)
- ④うみぼうずの泳ぎを真似る。様々な動きを体験する。自ら動く。(遊びの指導)
- ⑤物語をイメージする。(国語算数)



国語・算数

「真珠、みつけた！」

ポイント

「真珠を落としちゃったんだ、みつけてくれる？」  
「海へ行こう！」と、うみぼうずとの関わりを通して、ライトは真珠に。ブルーシートは海に早変わり。コロナ禍での教室が、中庭が、子ども達にとって大冒険の場になりました。

教材の使い方、指導の実践例など



遊びの指導  
「うみで泳ごう！」



# みんなで「いただきます！」

～各教科をリンクさせて、日常生活を豊かに～

## 対象となる児童・生徒

S 部門 小学部

(B学習グループ)

自立活動を主とする 教育課程

小学部2年生8名のグループ。絵本の読み聞かせや「食べ物」が大好き。発声や視線、身体の動きなどで選択や決定を伝えることができるようになってきました。

## ねらい

1年次より各教科をリンクさせ、物語の世界に深く入って学習を積み重ねることを大切にしています。今回は「おむすびころりん(食べ物)」を核に、各授業のねらいを設定しました。

## ポイント

子どもたちにとって「食べること、食物」は身近なものであり、大好きなもの(こと)の1つです。学習を重ねることとともに、日常生活へ還元し、より豊かな生活になることをねらっています。

## 教材の使い方、指導の実践例など

★「おむすびころりん」のおはなしを核に、他教科で以下のような活動をしました。

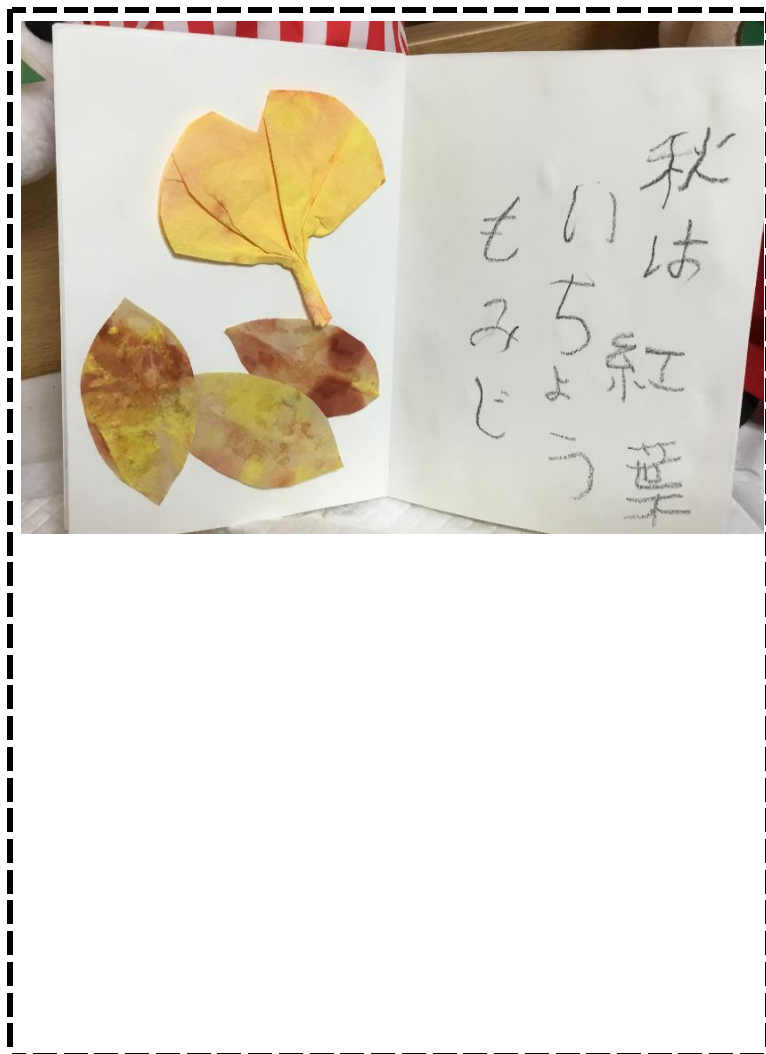
- ・国語算数 (読み聞かせ、劇あそびをしよう)
- ・音楽 (おはなしに効果音をつけよう)
- ・図画工作 (紙粘土で作ってみよう)
- ・生活単元学習 (稲や二十日大根を育てよう)





# 私の枕草子

～春夏秋冬これが好き～



## 対象となる児童・生徒

S 部門 中高 学部

在宅訪問

自立活動を主とする 教育課程

物語を読むのが好きな生徒

## ねらい

「春はあけぼの」で四季それぞれのよさを味わう。  
自分の考えを教員とやり取りしながら深め、  
作品に仕上げる。

## ポイント

- ・生徒が好きなものやことがらを書く。
- ・余白に絵など描く。

## 教材の使い方、指導の実践例など

- ・国語の古典の授業で作成します。
- ・まず、原文と現代語訳を読み、情景や心情について説明します。
- ・それぞれの季節について、生徒と話をしながら風物を書き出していきます。
- ・書き出したものの中から、作品に取り入れる風物を2～3に絞って書き、関連する絵を描いたり、製作したものを貼ったりします。
- ・完成したものを読みながら、生徒の季節感について共有していきます。

# Dynamaite

～英語の歌聞き取りKeynote教材～



So watch me bring the fire and set the night alight

そういちみ ぶりん た ふあいあせつと ないらい  
だからぼくの火花で夜を照らすのを見ていて

もう1回

## 対象となる児童・生徒

S 部門 全 学部

在宅訪問

全ての 教育課程

英語に興味がある児童生徒すべて対象

## ねらい

はやっている英語の歌を主体的に聞き取ることができるようにする

## ポイント

- ・iMovieとKeynoteで作成
- ・聞き取ることが目的
- ・聞き親しむ様子がわかる

## 教材の使い方、指導の実践例など

- 1 どのように聞こえるか、ゆっくりとはなす。
- 2 動画を再生して聞く。
- 3 数回くりかえす。
- 4 聞いているときの受信の様子、発信の様子に注目して、ことばにして返す。

## 穴通し ～手の操作性を高める～



### 対象となる児童・生徒

S 部門 高等部

(B学習グループ)

自立活動を主とする 教育課程  
物を握ることはできるが、保持することは難しい。また、一緒に手を動かしても、手元に視線を向けることは少ない。言葉かけをしながら、手元を意識させる。

### ねらい

「握る」「入れる」を一緒に行う。木の感触や、入れた時の音を楽しむことで、視線が向くようにする。

### ポイント

・ニスを塗っているが、口に入れても安全なものを使用している。

### 教材の使い方、指導の実践例など



- ・言葉掛けを行い、手元を注目させる。
- ・一緒に握って、棒に入れる。
- ・穴に入ったら手を放し、音が聞こえるようにする。